京急線73番目の「新品川駅」　路線図にない幻のスポット

探訪 ググッと首都圏

#東京 #神奈川 #サービス・食品

2023/3/23 5:00 [有料会員限定]

京浜急行電鉄の73番目の幻の駅「新品川駅」をご存じだろうか。駅番号は京急本線の品川駅（東京・港）の「KK01」に始まり、京急久里浜線の三崎口駅（神奈川県三浦市）の「KK72」で終わる。路線図にも地図にもないが、品川駅終着の列車は毎日停車している。

品川駅は京急線の起点で、JRや都営線が乗り入れるターミナル駅だ。同駅では、ホーム停車中の列車の後ろに次発の列車が待ち構えているなど、緻密なダイヤで運行している。

品川駅止まりの列車が折り返し運転するために必要なのが、上りから下り本線に列車を移動させるための「引き上げ線」だ。引き上げ線上で列車を停車し、運転士は新たな進行方向の運転台、車掌は最後尾へと入れ替わることで、列車の進行方向を切り替えられる。

品川駅からは北側に向かって引き上げ線が2本延びている。方向転換する列車は引き上げ線の途中で引き返すが、清掃業務のための列車は最奥部まで進んで業務用のホーム「新品川駅」に停車する。

電車からゴミを「新品川駅」の収集場所に運ぶスタッフ（東京都港区）

列車内などを清掃して集めたごみの運搬や、資材の搬入出のために利用されている。乗務員用トイレも備えており、運転士らが運行の合間に立ち寄ることもある。

新品川駅は1981年、引き上げ線を8両編成対応から12両編成へと延長する工事に伴い設置された。屋根付きの短いホームには、金属製の駅名標「新品川」が掲げられている。京急の広報担当の遠藤勉主査は「愛称がいつ付けられたか、駅名標を誰が取り付けたかは分からない」と説明する。

鉄道ファンの間で幻のスポットとして知られるようになり、人気を集め始めた。同社は2023年3月に初めて、ホームを一般公開するツアーを実施した。開催を祝って「KK73」の駅番号が振られた新しい駅名標を掲げた。ツアーには110人が参加し、都営浅草線の泉岳寺駅から品川駅へ向かう列車を見下ろしたり、再開発が進む品川の街並みを眺めたりして楽しんだ。

「新品川駅」は東京都の連続立体交差事業に伴い廃止される予定（東京都港区）

品川駅ホームは現在2面3線だが、東京都による泉岳寺駅―新馬場駅間（総延長約1.7キロメートル）の連続立体交差事業に伴い、駅の構造を変える計画だ。29年度には北品川駅（東京・品川）のホームが高架となり、品川駅は地上に2面4線のホームを構えることになる。引き上げ線も地上に敷かれるため、京急線の運行を40年以上支えてきた新品川駅は廃止される。

20年度に事業着手された品川駅の地上移設工事も新品川駅のホームから見ることができる。遠藤主査は「移設工事前にツアーをまた実施したい」と話している。（鈴木菜月）

【関連記事】

・京急、バッグでスタンプラリー　東京・品川の商店街連携

・京急、10.8%運賃値上げ申請　遠距離は値下げ

・視界不良の蒲蒲線、羽田直通に課題　人口増への期待も

ニュースレター登録